



短い時間だったけど、すっかり仲良くなった両校の生徒たち

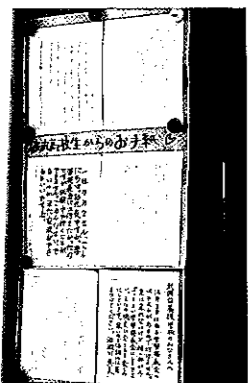
ありばレポート ②

武岡台養護学校と鶴丸高校の交流学習会

心の交流を深めようと生徒みずからアイデアを出した。

「彼は今まで出会った人の中で最も温かい手を持っていた」

鹿児島県福祉作文コンクール高校生部の部で最優秀賞に選ばれた、鹿児島県立鶴丸高校2年沖野さやかさんの作品の中の一文である。武岡台養護学校と鶴丸高校は毎年交流学習会を開き、2000年度は9月30日に行われた。交流学習会に参加するのは、鶴丸高校が1年9組の40名。武岡台養護学校は高等部の生徒37名であった。7月の初めに武岡台養護学校よりビデオレターが届いた。交流学習をしようという具体的なイメージはまだわいてこなかった。鶴丸高校でも1年9組のビデオレター作成に取りかかった。クラス一人一人の自己紹介、部活動や学級キ



学習交流会の思い出や感想をつづった鶴丸高生の手紙

ヤンプの様子などを盛り込んだ。「1年生の新学期ですが、うちのクラスはわりとまとまりが良く、全員でビデオレターづくりに取り組んでいました。」と担任の庄村隆二先生。

お互いに楽しく、未来へつながる時間を共有。

9月になるとクラスを班に分け、それぞれの班ごとに学級活動で行うゲームなどについて検討した。そして交流学習会当日朝、武岡台養護学校へ。「最初はちょっと不安だったけど、とても歓迎してくれて、すぐ手をつないでくれたのはびっくりしました。」と



来校した友だちをもてなすのが大好きな武岡台養護学校高等部の生徒たち

女子生徒。お互いのあいさつを済ませ、6つのグループに分かれて、お手玉入れや、ティッシュ・リレーなどを楽しんだ。武岡台養護学校の女子生徒は「ゲームはとっても楽しかった。遊んだ後の自由時間に、住所やメールアドレスの交換をしました。今でもメールのやりとりが続いています。」と感想を語ってくれた。

交流学習会後の鶴丸高校の生徒たちからは、「武岡台養護学校は生徒によって障害のレベルが違うが、みんなが協力し合っているのはすばらしい。」「自分はJRを使って通学しているが、同じ車両の中に障害をもった子がいて、交流学習会前はあまり気にとめていなかったが、今は自然に話せるようになった。」「障害者に対する不安はお互いに接する機会が少ないことが原因じゃないだろうか。」などといった意見が出た。交流学習で得た生徒たちの心の糧は大きい。



いろんなアイデアを盛り込んだゲームでの楽しいひととき

ありばレポート ①



散歩コースにもってこの甲突川べりで、母親恵子さんと後藤さん

ひまわり電車を走らせる会のボランティア養成講座

お互い交流をはかることで笑顔の輪がどんどんひろがって。

「路面電車に一度でいいから乗ってみたいですよ」という小さなつぶやきから始まった県内の障害者でつくる「ひまわり電車」を走らせる会。1994年11月に車両3両を借り、市内観光および、福祉ふれあいフェスティバルへ参加。参加者は200人。翌95年にはJRつばめで熊本市へ1日旅行、また99年には桜島フェリーで錦江湾のクルージングへ。参加者は5年前の倍の400人に。そして、2000年9月には伊集院町にあるレジャー施設ジョイフルランド宮田石を訪ね、障害者とボランティアおよび一般の人との交流を図った。

今回の実行委員長である後藤礼治さんは、19歳のときに交通事故で頸椎(けいつい)を損傷、重度の障害者である。しかし、毎秋にひまわり電車を走らせるために実行委員をまとめる一方、ボランティアの募集から介護講習会の開催など、みずから積極的に動く。「ボランティアをやってみたいけど自分から申し出る勇気がない人、さっかかけをつかめない人などいっぱいいます。」



乗車、降車、階段の上り下りなど車椅子での移動はたいへん



ボランティアの人に車椅子ごとにかかえられて乗車

しかし、講習会に参加し、実際にイベントを通して障害者と交流すると、みなさん笑顔になっていきます。その笑顔の輪がどんどんひろがっていった。という感じですかね。」と後藤さんは語る。

ボランティアの募集は、新聞と鹿児島市内にある、ハートピアかごしまと、ゆうあい館の掲示板で行った。2000年度の講習は6月から7月にかけて週1回の4日間開催され、17名に修了書が発行されている。養成講座参加者の声をひろげてみると、「障害者が町中でいかに大変なのかを実感できた」「目の不自由な方や車いすの方の気持ちがかわかった」「障害を持つ方とのコミュニケーションが番大事」といった感想が多い。受講者は会社員、学生、主婦などさまざまである。

後藤さんは、こうしたボランティアの広がりを感じ、3年ほど前に、鹿児島ボランティアネットワークという県内初の車いす者を対象にした介助ボランティア派遣組織を立ち上げた。ここにも70名ほどの人たちが登録しており、さまざまな福祉活動に参加している。「関係者のそれぞれの強い思いがある限り、ひまわり電車はこれからも走り続けていくことと思います。」「2000年のひまわり電車を走らせる会活動報告書の冒頭に寄せられた後藤さんの言葉である。」



JR特急「さりしま」で宮崎まで一日旅行に出発

ありばレポート 3



同好会のみなさん全員が熱心に指導を受けています

ろうあ者との交流を楽しむ 未吉町のハーモニー手話同好会

障害を持つ人と積極的に交流したい。

曾於郡末吉町は、メセナ大学という生涯学習講座があり活動も活発である。その講座の中に平成6年から手話講座が盛り込まれた。講座受講者の中から、せっかくなんだものをもっと活かしたいという声が上ががり手話同好会結成に至った。平成10年7月のことである。主婦が中心で女性10名、男性1名、その中にはろうあ者の方が3名参加している。

活動は週に一回、鹿児島県の手話通訳者資格をもつ重吉真弓さんの指導で手話を学ぶ。「ボランティアでなかなか自分のできることをしたかった」「近所にろうあ者のご夫婦がいらつしゃって、道で会ってもお話しとできないので、どうしても手話を覚えたいかった。」などと障



指導の後、早速お互いで実践します

害を持つ人と交流を深めたいという強い思いを会員一人ひとりがいだいている。



重吉真弓さん(左)と蔵田房子さん(右)

ろうあ者をまじえた 実際の交流が一番身に付く。

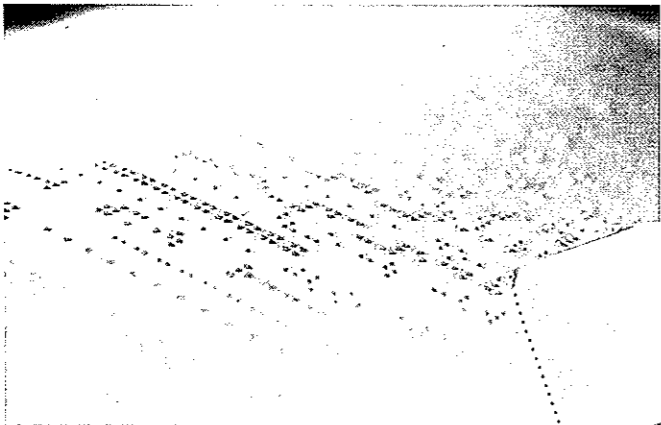
最初の頃は、手話表現のつひつひと意味があることに驚き、学んでいくうちに手話の奥の深さがわかってきたという。頭で覚えるよりも体で覚える方が、実際の会話の中ではずっと出てくる。健康者だけの勉強会だったら、あまり上達しないじゃないですか。この会には3人のろうあ者がいらつしゃいますから、実際に手話をこの場で使わないことにはコミュニケーションが成立



同好会のみなさん

また、ハーモニー手話同好会では、町で開かれる福祉大会や学校行事の時などに、会員たちが手話通訳を引き受ける。都城市の手話サークルとの交流等も行った。「みなさんが、手話通訳者資格をめざして勉強して欲しいですね。末吉町内には6名のろうあ者がいらつしゃいますが、役場に行ったり銀行に行つたりされた時、せめて町内だけでも不自由のない生活をしていただければと思います。」と重吉さん。「ハーモニー」の名のように、障害者と健康者がハーモニーを奏で合う日を夢見て、意欲的な活動が続く。

ありばレポート 4



点訳された町内報

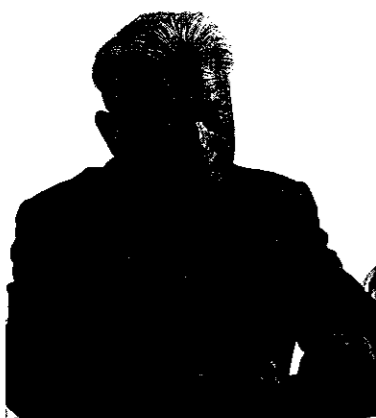


パソコンを使って点訳する 隼人町点訳ボランティア

町内外から17名の ボランティアで作業にあたる。

タイプライターがワープロやパソコンに代わられたように、点字器で二字打ち込んでいく点訳作業は、今ほとんどパソコン点訳になっている。スピードは点字器の約10倍とも言われる。また、点字器の場合、時間をかけて打つても部しか作れないが、パソコン点訳だと、部数は何部でもプリントアウトできるし、データの修正や保存が容易である。

こうしたパソコン点訳システムを使って、週一回隼人町社会福祉協議会の2階で点訳作業を行っているのが「隼人町点訳ボランティア」の人たちである。ボランティアは17名。そのうち男性



前田寛さん(隼人町点訳ボランティア代表)



キーボードで入力をしてゆきます

が3名で、あとは女性、40代の主婦が多い。隼人町内だけではなく国分市、吉田町、牧園町からも参加している。「隼人町の生涯学習講座で点字教室を受講した人が会員のほとんどですね。最初の頃の会員さんは点字器からパソコン点訳へという流れですが、最近ではパソコンができるのでパソコン点訳をという方が多いです。」と代表の前田寛さん。

行政の刊行物以外に個人の 点訳依頼も引き受ける。

ボランティアの人たちは、毎週月曜日の朝9時から11時までパソコンに向かう。常時7台のデスクトップパソコン

が設置されているが、自分のノートパソコンを持参して打ち込む人もいる。点訳する文書は、「広報はやと」「議会だより」「社協だより」「県政かわら版」など行政の刊行物が主である。広報誌のようにページ数の多いものは、会員でページを分担して点訳していく。また、行政の刊行物以外にも、列車の時刻表を打つてくださいたいといった障害者からのプライベートな依頼も受け付けている。

17名のボランティアが郷田さん他4名の点訳奉仕員の指導・校正を得て、点訳作業を行っているが、読者は町内の6名の障害者。「現在、隼人町内に限っていますが、できれば国分くらいまでなんとかお手伝いできればと思っていますが?」と前田さん。点訳用プリンタや場所の無償貸与など、行政サイドのボランティアに対する支援体制も万全である。

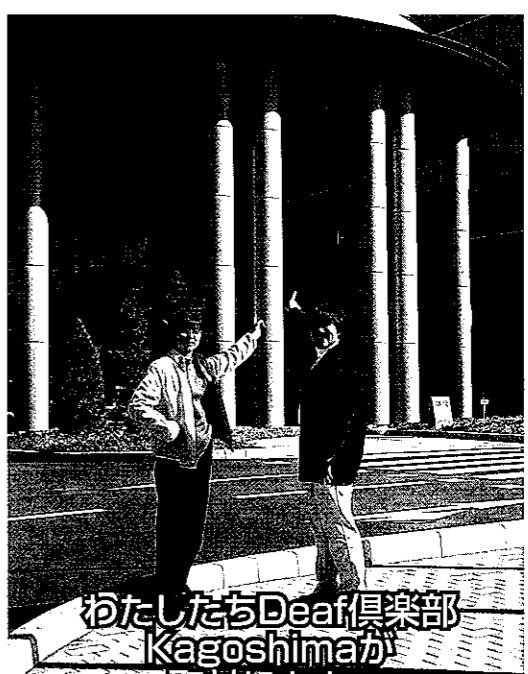


左:郷田隆さん(鹿児島県公認の点訳奉仕員)
右:大野むつみさん(隼人町社会福祉協議会)

かごしま

みである記

ハートピア
かごしま



Deaf Club Kagoshima
取材します。

Deaf Club Kagoshimaプロフィール

編集スタッフがすべてろう者で構成される編集グループ。聴覚障害者の視点で捉えた、聴覚障害、または「ろう文化」に関する様々な楽しい情報誌を発行。聴覚障害者・健聴者に関係なく幅広く読んでいただきたいと平成10年9月に創刊(隔月発行・B5版36ページ)。写真は今回のレポーター、編集長の咲月達さん(右)とスタッフの前東敏美さん(左)。

障害者も健常者も 気軽に利用できる総合施設

ハートピアかごしまは、「障害者が自分の住む街の中で、地域社会の一員として社会経済活動等に参加し、地域の人たちと様々なかわりを持ちながら、生き生きと生活できる社会を造る」というノーマライゼーションの理念のもとで作られた障害者福祉の総合施設。しかし、障害者だけが利用する施設ではなく、一般の方々も利用できます。バリアフリー機能も充実しているハートピアかごしまを、私たちDeaf Clubが聴覚障害者の視点で見てきました。「ハートピアかごしま」みてある記、いざ出発〜!

まずは1Fから。

「ハートピアかごしま」のエントランスホール(メインロビー)は天井も高く、車いすでもゆったりと自由自在に動けるほどの広さ。和田小学校の伊村優花さんが描いた原画をもとに作成された、壁画「しゃぼんだまのゆめ」がとってもかわいくて、見る人の心を和ませてくれます。



1Fには、鹿児島県身体障害者更生相談所・多目的ホール・温水プール・体育館・盲人卓球室があります。

プールでは、車いすでも直接入れるスロップや、車いすの高さに合わせた洗面台等の設備があります。また、水泳中の目の不自由な人がゴール目前を感じることができるように、ゴール前5m前地点では泡が吹き出る気泡装置があり、気兼ねなく泳げるのが嬉しい!



盲人卓球室。盲人卓球は、ネット下をピンポン玉が通過しながら打ち合うスポーツ。ピンポン玉の中には鈴が入っているので、鈴の音でピンポン玉が来る位置が分かるとか。

2Fには鹿児島県身体障害者自立支援センターで、障害者の入所施設や身体機能回復のための運動療法訓練室や、ADL室(日常生活動作能力訓練室)があります。

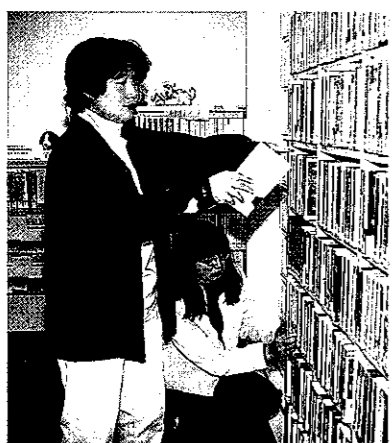
運動療法訓練室では、エアロバイクなど様々なトレーニング機器を設置して、身体機能回復訓練または体力の維持・向上訓練に利用されています。



何回もしていると、重くなって腕がきつい...!これは体力つきます!

ADL室(日常生活動作能力訓練室)には和室・洋室・浴室・台所があり、体の不自由な人が自力で生活できるように様々な機能をそろえた部屋で訓練をします。

浴室には、浴槽を電動で上下させる機械が取り付けられているので、寝たきりの人や足の不自由な人がお風呂を利用する時にとても便利な仕組みになっています。ここでは、別室のベッドからトイレ・洗濯機・浴室まで天井から吊された形の電動ハンモックで運べる機械があるのです!



面白い字幕入りビデオはないかな~

3Fの鹿児島県視聴覚障害者情報センターには、目の不自由な方のための点字図書館や、耳の不自由な人のための字幕入りビデオの貸出を行うビデオライブラリがあります。また目の不自由な方に本を朗読して聞かせる対面音声訳室もあります。他にも字幕入りのビデオを製作する編集録音室やスタジオも設備されています。

家庭生活での適応訓練として、調理実習室があります。ここでは車いすの方でも調理できるように、電動で高さを調節できる調理台が設置されています。



低い調理台では、子供でも調理できそう!

屋上は、リハビリ公園。ここには、スロップ坂や砂利道でこぼこの踏切があり、車いすの人が自力で対応できるように訓練できる設備があります。そのほかに、入所者が植えたというキレイな花が咲く花壇や、草木などがあり、青空の下でゆっくり過ごせる場所になっています。



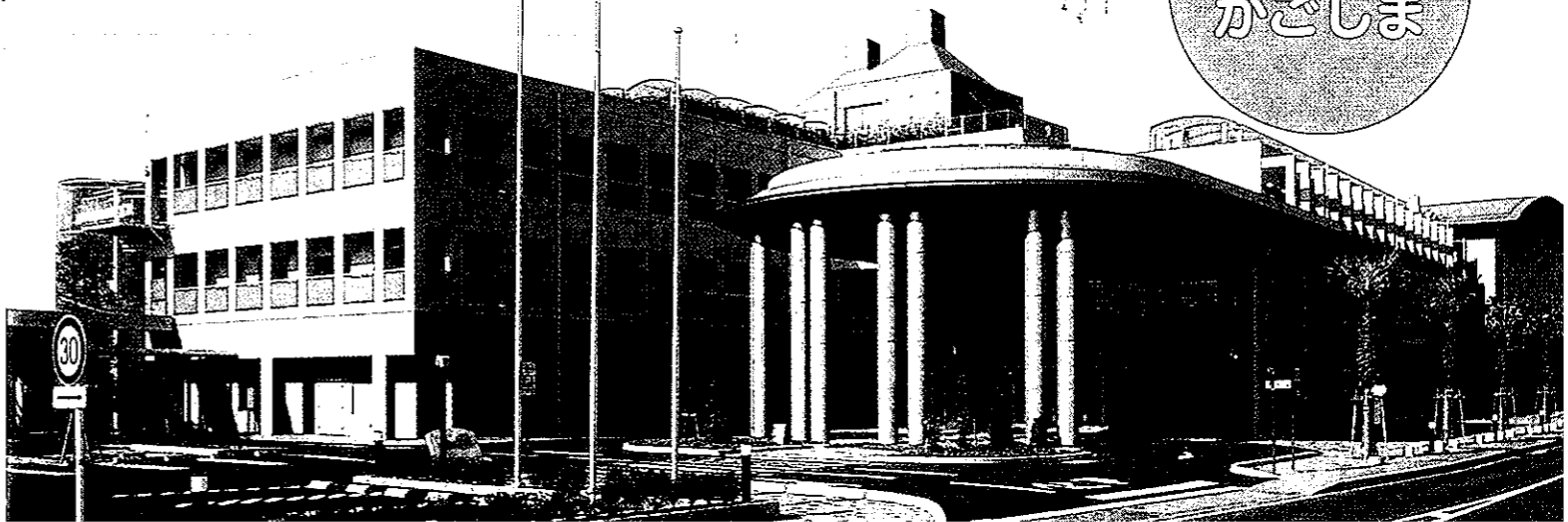
スロップには、手すりもついているので歩行訓練もできますね!

ハートピア付近の信号機柱には、車いすの方のための信号待ち感知センサーがあるので、わざわざ車いすから体を乗り出さなくても手をパネルに近づけるだけで自動的に感知。ラクラクですね!



【編集後記】

知れば知るほど、障害者にとって気楽に楽しめる設備ばかりで、楽しさ百倍って感じ! 障害者・健常者に関係なく利用できるのが嬉しいですね。特にハートピアの周り、たとえば甲突川や信号機などもバリアフリーが充実していて、とても感動しました!(咲月遙)
ハートピアを見て、「生まれ変わった!新しいバリアフリーの施設!これぞ21世紀のハートピア!私でも気楽に遊びに行ける!」と思いました。これからもっと利用していきたいと思っています!(前東敏美)



鹿児島車いす 駅伝競走大会

一生懸命が感動の輪をひろげて。



小雨降る鹿児島を 疾風のように走る 選手たち

2000年10月7日。鹿児島市の対岸にそびえる火の山。桜島は猛然と噴煙を吹き上げ、市内を灰で覆った。

「鹿児島車いす駅伝競走大会」に参加する選手たちも、この自然の猛威にびつくり。7日夕方よりホテルで開会式と交流会が開かれた。レースのスタートは、翌8日午前11時。ロードスイーパーや散水車がフル稼働し徹夜で降灰の除去作業が行われ、スタート直前の午前10時半まで続けられた。

小雨が降る中、小野一丁目にあるスタート地点の「ハートピアかごしま」に第1区の選手が集結。自らも車いすで議員活動を続けている八代英太衆議院議員の号砲でスタートし、参加19チームの選手が一斉に街へ飛び出した。速い、速い、小雨をつき、たくましい両腕



参加19チームの選手が一斉に街へ飛び出した。速い、速い、小雨をつき、たくましい両腕

でリムをまわしながら、車いすのアスリートが鹿児島街を走り抜け、ゴールの鴨池陸上競技場へとつないでいった。

出場の門戸を 大きく開いた大会

鹿児島での車いす駅伝大会は今回が初めてで、岡山や京都に次ぐものであった。北は茨城から南は沖縄まで14府県19チーム150人が参加した。鹿児島大会の特徴は、頸椎(けいつい)損傷など重度の障害者および女性選手を3区に起用することをルール化。これまでの出場の門戸を大きく開いたことにある。「鹿児島のような大会が、女子選手や頸椎損傷の選手を増やし、育てるきっかけになるのでは」と語る選手もいた。



また、前日に鹿児島入りした選手たちを、ボランティア100人が出迎え、選手の移動や車の乗り降りなどをサポート。「車いすであんなにスピードが出るとは」とレースの迫力に圧倒された人。「上半身だけで車いすを動かす姿に元気づけられた」という人など一般市民の反応もさまざま。レースは、大分のホンダアスリートチームが序盤から独走し優勝。以下、熊本、福岡と続き、鹿児島は4位に食い込んだ。



バリアフリー天文館

街をたづねり楽しもう！
人にやさしい街づくりを
障害者とともに

「鹿児島車いす駅伝競走大会」と時を同じくして、鹿児島市の繁華街天文館では、「バリアフリー天文館」が開催された。鹿児島市の中央地区商店街振興組合連合会が主催し、人にやさしい街づくりをすすめるというもの。県内15カ所の身体障害者施設の入所者約250人と職員、それにお年寄りや障害者が参加し、グルメやショッピングや娯楽などを楽しんだ。

連合会会員やボランティア約70人が道案内や移動を手伝い、トイレの介助なども行った。このイベントは平成10年から催され、回を重ねるたびに店員や一般市民の意識が高まるとともに、もともと人にやさしい街づくりのヒントが生まれてきている。

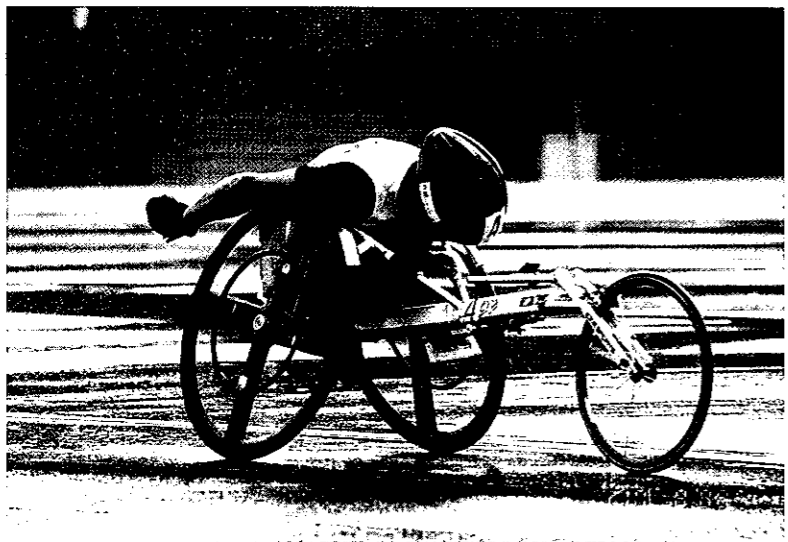
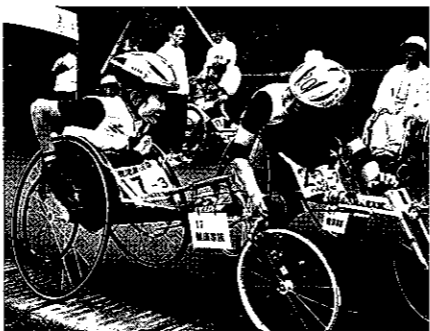
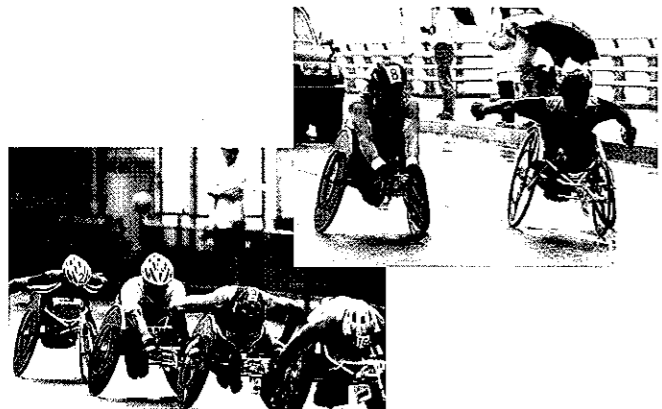


ハートピアかごしま ふれあいフェスタ

全施設完成を祝って
多彩な催し

講演やコンサート
通じてふれあう

2000年4月1日にオープンした障害者福祉の中核施設である「ハートピアかごしま」の全施設完成を記念して、同年10月7日に「ハートピアかごしまふれあいフェスタ」が開催された。多目的ホールでは、演奏、カラオケ、コンサート、また、高校時代に聴覚障害を乗り越え、全国高等学校女子硬式野球で全国優勝した経験をもつ鹿児島国際大学の今田真由美さんの「私の誇り」と題した講演会などが開かれ、障害者や市民が多彩なイベントを楽しんだ。新たに完成したのは全天候型のグラウンドとアーチエリー場で、参加者は思い思いに施設の感触を味わっていた。



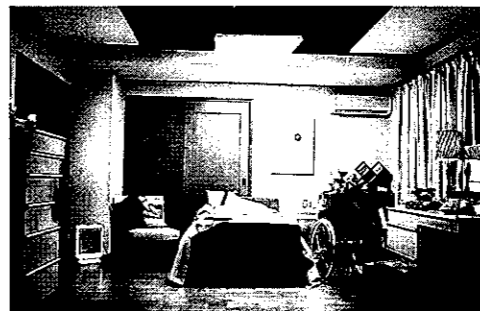
やさしさのカタチ

ドラマ『ビューティフルライフ』に見るバリアフリー

2000年1月から3月にかけてテレビで放映された『ビューティフルライフ』は、平均視聴率32.3%という90年代のドラマで最高を記録しました。物語は、美容師の若者と車いす生活をおくる図書館司書のラブストーリーで、ドラマのセットには障害者のためのバリアフリーが施されていました。このドラマのセットについてアドバイザーが施されたのが、鹿屋市に住む金子裕行さんです。彼のアドバイスが、ドラマのセットにどのように活かされていたのかを、図面や写真と共に再現してみました。

2階寝室

ヒロインが生活する部屋で、他の部屋とちがいが全面改装したつくりになっています。写真の車いすは軽量コンパクトで運動性能に優れ、車への積み下ろしも楽にできます。



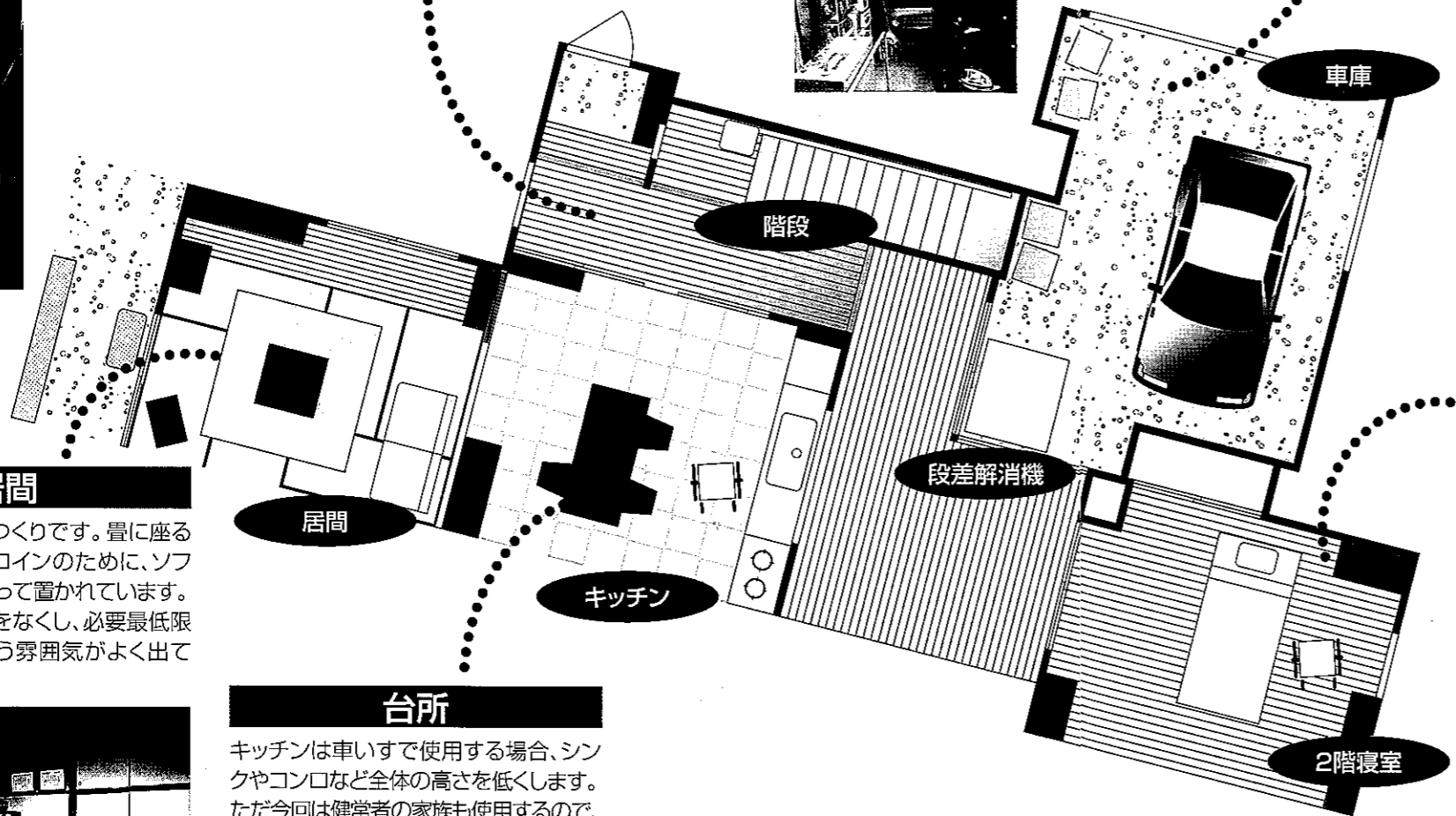
車庫から住居へかけてのアプローチ

ヒロイン杏子の住まいは、東京下町の酒屋さんという設定。彼女は車を運転し、酒の箱などが積まれた倉庫を車庫として使っています。この車庫から家の中に入るには、据え置き型の段差解消機が、より現実味が出るということで土間に置いてあります。



階段まわり

ヒロインの寝室が2階にあるということで、階段昇降機を設置しています。この場合、上下階に車いすを準備する必要があります。車いす生活をしている人の寝室が2階にあるのは、ちょっと無理があり、実際にドラマの中でも使用されることはありませんでした。



テレビ局の制作部から電話が来たのは、99年の10月でした。後天性の障害をもつ女性の住まいはどうあるべきかと、いきなり電話が来ました。なんでも、私の会社のホームページをインターネットで「ごらんになったみたいで、それからは図面や写真をメールなどでやりとりしました。なにせ、オンエアまで2カ月くらいしかないので、そんな短期間にできるのかな、と思いましたね。『ビューティフルライフ』という番組タイトルや、木村拓也さん常盤真子さん主演のラブストーリーということも放送の1カ月前まで知りませんでした。ドラマが始まったら、毎回食い入るように見っていました。セットもよくできていましたし、ドラマも高視聴率を記録しましたから、ほっとしました。

私は学校や病院などの建設に関わってきましたが、建物だけではなく内部についてもアドバイスができればと思い、介護や福祉関係の本を読みあさりました。ちょうどハートビル法ができた頃に、バリアフリーな建物やソフト面の提案、介護・福祉機器などを扱う会社を設立しました。スタッフとして障害者にも加わってもらい、いろんな視点から見たハードやソフトづくりを考えていきたいですね。



一級建築士
金子 裕行さん

電話とメールのやりとりで、バリアフリーをアドバイス。

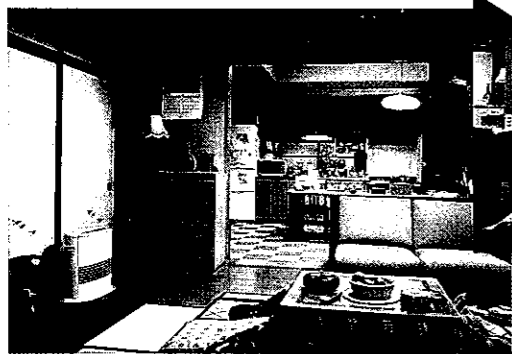
台所

キッチンは車いすで使用する場合、シンクやコンロなど全体の高さを低くします。ただ今回は健常者の家族も使用するので、火を使うコンロだけを低くし安全に使えるようになっています。障害者だけが使うのであれば、コンロよりも電磁調理器がより安全です。



居間

年代を感じさせるつくりです。畳に座るのがむずかしいヒロインのために、ソファがテレビに向かって置かれています。台所との境は段差をなくし、必要最低限の改装をしたという雰囲気がよく出ています。



福祉のまちづくりを めざして

鹿児島県 福祉のまちづくり条例

日ごろ、あまり気にとめない道路の段差や手すりのない階段など、障害者や高齢者の方々にとっては、活動の際の大きな障壁(バリア)となっております。県では、このような障壁(バリア)を取り除き、すべての人が自分の意思で自由に行動し、社会活動に参加できる心豊かで住みよい福祉のまちづくりを進めるため、平成11年3月に「鹿児島県福祉のまちづくり条例」を制定しました。条例に基づき、「施設のバリアフリー化」と「心のバリアフリー化」に、市町村や事業者、県民と一体となって取り組んでいきます。

施設のバリアフリー化

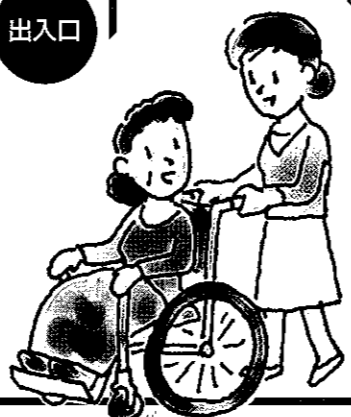
不特定多数の人が利用する病院、デパート、銀行などの建物や道路、公園などの公共的施設について、高齢者や障害者の方々が安全かつ快適に利用できるよう、「施設のバリアフリー化」を進めます。

心のバリアフリー化

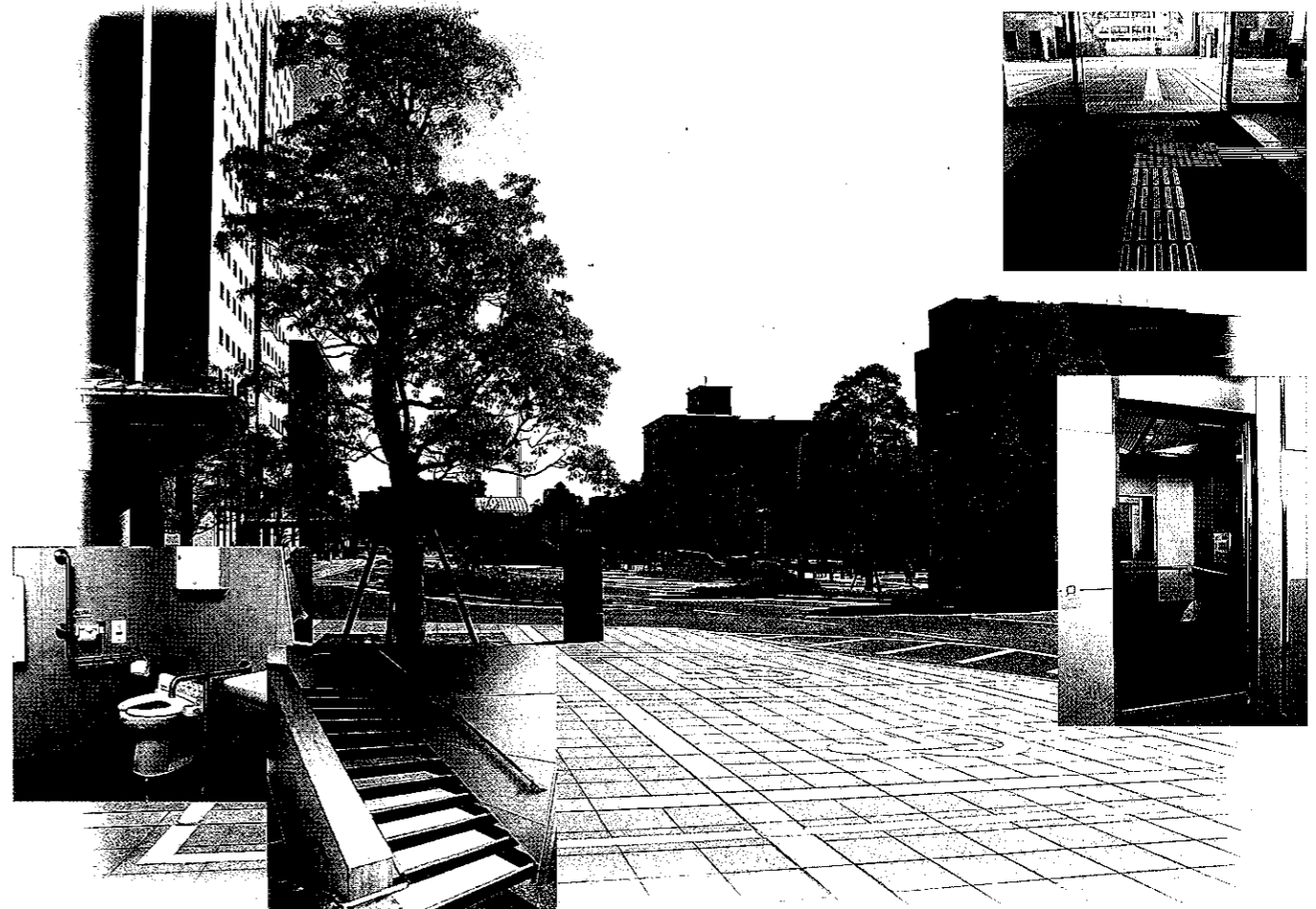
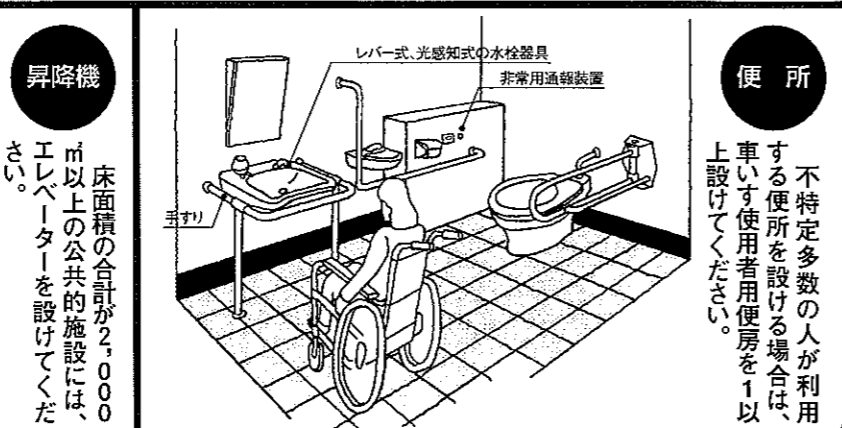
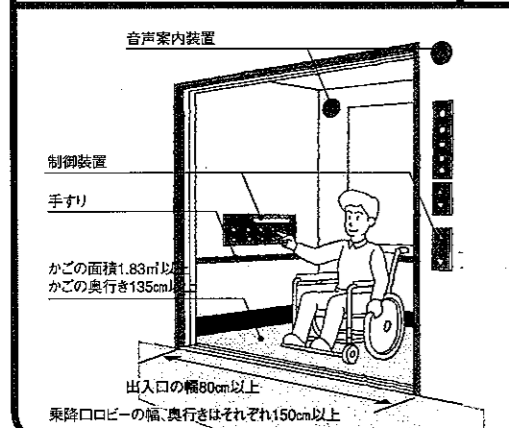
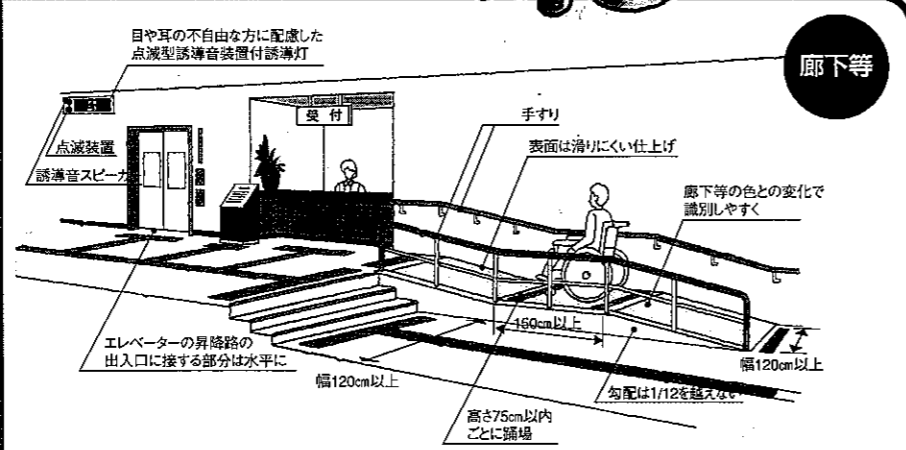
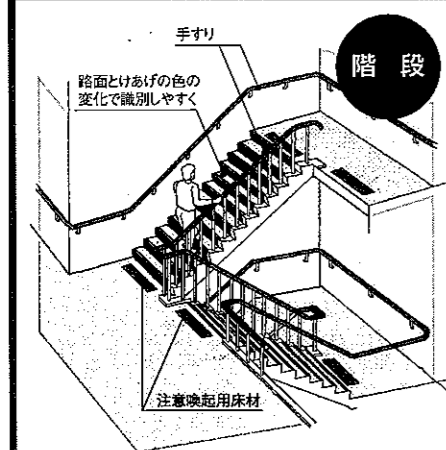
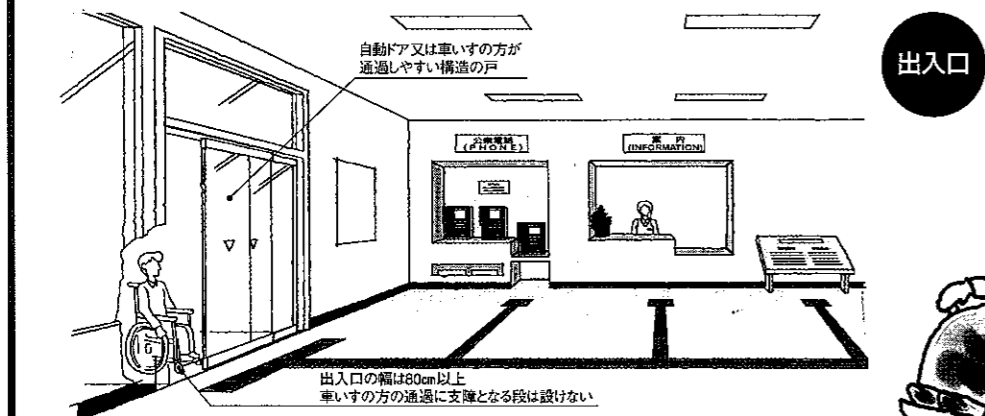
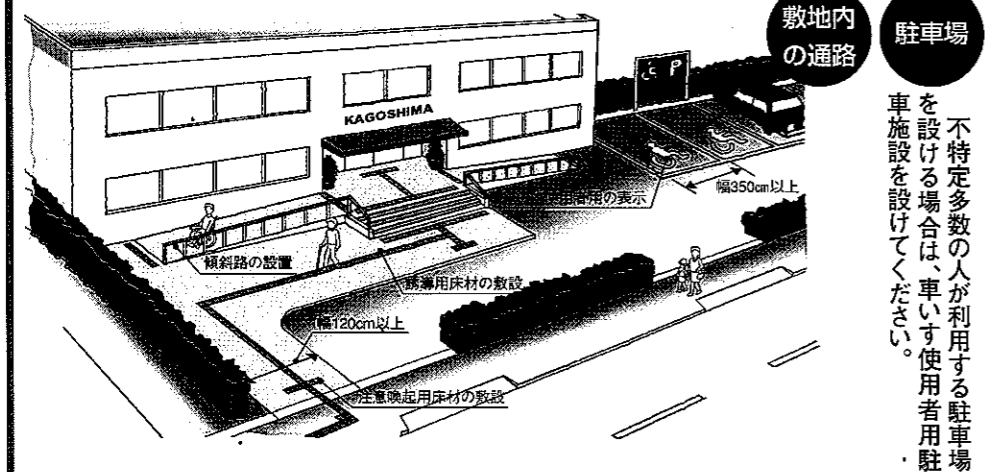
まちで困っている人がいたら、ごく自然に声かけや手助けをしたり、ボランティア活動に積極的に参加するなど、高齢者や障害者の方々に対する理解を深め、思いやりの心をはぐくむ「心のバリアフリー化」を進めます。

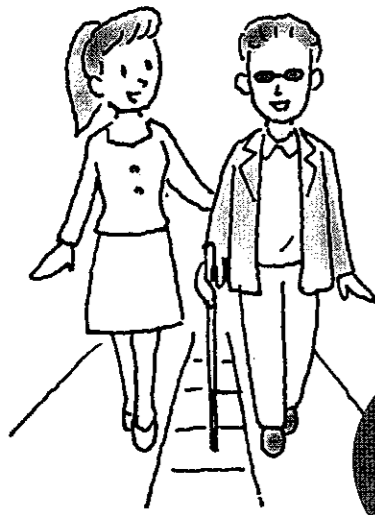
病院、銀行、デパートなど不特定多数の人が利用する施設については、「整備基準」への適合に努める必要があります。

整備基準とは、公共的施設の出入口、廊下、階段、エレベーター、トイレなどについて、高齢者や障害者の方々が安全かつ快適に利用できるようにするために定めた基準です。



整備基準の例





- 整備基準に適合しているか確かめてください。
- 建築士によく相談して計画を立ててください。

新築等の計画

届出

- 工事に着手する日の30日前までに、施設の所在地を所管する土木事務所等に届け出てください。

工事

工事完了の届出

◎工事完了後、速やかに届け出てください。



建物を新築したり、改築などする場合は、**条例による手続きが必要**です。
 特定公共的施設については、新築、改築などを行う場合は、**場合、事前にその内容の届出が必要**です。

公共的施設及び特定公共的施設

区分	公共的施設(施設の例示)	特定公共的施設	
福祉保健施設	児童福祉施設、身体障害者更生指導施設、老人福祉施設、介護老人保健施設、母子健康センター等	すべてのもの	
文化施設	図書館、博物館、美術館等		
公共交通機関の施設	鉄道の停車場、軌道の停留所、バスターミナル、空港・港湾の旅客施設		
公衆便所	公衆便所		
官公庁施設	国・県・市町村等の施設		
教育施設	学校、自動車教習所、職業訓練施設等		
火葬場	火葬場		
公益施設	ガス、電気、電気通信事業者の事務所		
共同住宅	戸数が25戸以上のマンション・アパート等の共用部分		
医療施設	病院、診療所		
集会施設	集会場、公会堂、公民館、冠婚葬祭施設	用途面積300㎡以上	
物品販売施設	百貨店、マーケット、その他の物品販売業等を営む店舗		
公衆浴場	公衆浴場		
飲食施設	料理店、喫茶店、バー、キャバレー等		
サービス施設	理・美容院、クリーニング取次店、金融機関等		
興行施設	劇場、観覧場、映画館、演芸場		
展示施設	展示場		
宿泊施設	ホテル、旅館等		
体育施設	体育館、水泳場、ボウリング場、スケート場等		
娯楽施設	遊技場、カラオケボックス、ダンスホール等		
駐車施設	建築物である路外駐車場	用途面積1,000㎡以上	
事務所	事務所(他の項の公共的施設に付属するものを除く)		
工場	見学のための施設を有する工場		
複合施設	2以上の異なる用途に供する建築物		
建築物以外の公共交通機関の施設	鉄道の停車場、軌道の停留所、バスターミナル、空港・港湾の旅客施設		用途面積2,000㎡以上 用途面積3,000㎡以上 用途面積2,000㎡以上
道路	国道、県道、市町村道		
公園等	都市公園、動物園、植物園、遊園地等		
建築物以外の路外駐車場	建築物以外の路外駐車場		

※特定公共的施設の面積は、用途面積(用途に供する部分の床面積の合計)です。

対象となる施設

特定公共的施設

公共的施設のうち、高齢者や障害者の方などが安全かつ快適に利用できるようなための整備を促進することが特に必要な施設をいいます。

公共的施設

病院、デパート、銀行等の建物や道路、公園など不特定かつ多数の人の利用に供する施設をいいます。

【貸付条件】

ご利用いただける方	限度額
鹿児島県福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するための整備を行うおとする中小企業者および組合	4,000万円
申込先	利率
各商工会議所・商工会 (組合は鹿児島県中小企業団体中央会)	年2.35%(平成13.2.1現在)
問合せ先	保証料
県庁障害福祉課(☎099-286-2749) 県庁中小企業課(☎099-286-2946)	年0.75%
	返済期間
	10年以内

店舗等のバリアフリーのための低利・長期資金

【福祉のまちづくり施設整備資金】
 この資金は、中小企業者の方などが、公共的施設(不特定多数の方が利用する施設で、例えば物品販売業を営む店舗、飲食店、理・美容院、ホテル、病院など)を、整備基準に適合した整備を行う場合に必要資金を融資するものです。



鹿児島県福祉のまちづくり条例

適合証

適合証の交付請求

審査

適合証の交付

適合証の交付が受けられます。

公共的施設を所有し、または管理する人は、その公共的施設が整備基準に適合しているときには、適合証の交付を請求することができます。

建物の正面玄関などに掲示し、バリアフリーな施設であることをアピールしましょう。

あなたは日ごろから、心のバリアフリーに向けて自ら積極的な活動をされているそうですね。福祉のまちづくりを進めるには、心のバリアフリーに対する理解の輪が県民一人ひとりに広がっていくことが大切です。ぜひご家族やお友だちにも「ありば」を勧めてください。

オレンジの質問に対して「はい」の数が5個以上の方

- はい 5 / いいえ 5 ボランティア活動に参加したことがある。
- はい 5 / いいえ 5 手話や点字に興味がある、もしくは得意である。
- はい 5 / いいえ 5 困っている人を見ると、手助けをしたくなる。

建物や道路など、ハード面のバリアフリーに対して特に高い関心をお持ちのようです。鹿児島県福祉のまちづくり条例では、ハード面のバリアフリー化に関して、細かな基準を示しています。県では、この「ありば」とは別に、詳細を掲載した冊子を作成していますので、参考にしてください。

ブルーの質問に対して「はい」の数が5個以上の方

- はい 5 / いいえ 5 ハートピアがごしまを利用したことがある。
- はい 5 / いいえ 5 ドラマ「ビューティフルライフ」のセットの話が自宅改築の参考になった。
- はい 5 / いいえ 5 条例で公共的施設に対する整備基準が設けられていることを知っていた。

オレンジの設問

- はい 5 / いいえ 5 点字ブロック上への自転車の放置は、バリアフリーの妨げになると思う。
- はい 5 / いいえ 5 バリアフリーに関するいろんな情報を知りたい。
- はい 5 / いいえ 5 心のバリアフリーのために、これからもできることに挑戦していきたい。

ブルーの設問

- はい 5 / いいえ 5 街を歩いていると障害者用のトイレが少ないと思うことがある。
- はい 5 / いいえ 5 建物や道路などがすべてバリアフリー化されるべきだと思う。
- はい 5 / いいえ 5 福祉のまちづくりに協力していきたい。



バリアフリー診断

広報誌「ありば」を読み終えた感想はいかがでしたでしょうか? バリアフリーについてのご理解がいただけたかどうか、いくつか質問をいたします。「はい」か「いいえ」でお答えの上、「はい」の数を数えてみてください。